

情報連絡員総括表（2023年10月）

— 静岡県中小企業団体中央会 —

本書は、静岡県中小企業団体中央会が委嘱した情報連絡員〔協同組合等の役職員 60 名〕による毎月の景況調査の集計結果です。

1. 概況報告
2. 項目別の前月・今月のDI値の比較
3. 情報連絡員からの報告
4. 主要三指標におけるDI値の推移（グラフ）

・本調査の見方・

◎売上高等の9項目につき 前年同月と比較し、好転・不変・悪化 のいずれかを回答

$$DI値 = [(好転組合数 - 悪化組合数) / 調査対象組合数] \times 100$$

※全項目が前年同月比「不変」となった場合は、DI値は基準値 ±0.0 (=横ばい) で推移
※「在庫数量」のみ、プラス値が高いほどマイナス要因と定義

1. 概況報告 （回答者数 60 名：回収率 100.0%）

○2023年10月のDI値は、前月との比較において、「在庫数量」「取引条件」の2指標が悪化。その他7指標が改善した。特に「設備操業度」は33.4ポイント改善しているが、前年同月は台風15号の影響により稼働ができていなかったことが要因。製造業で各項目に大幅な改善が見られた一方、非製造業では悪化の項目が多くなった。

○「製造業」では、前月との比較において「在庫数量」を除くすべての指標が改善した。特に「売上高」が43.4ポイント改善しており、DI値はプラス6.7となり、回答者の半数以上が売上高の上昇を感じている。また、水産食料品製造業からは「電力費やガス代、燃油代などのインフラコストが政府の補助金の効果もあって比較的安定してくれている。上半期は予想外の黒字を出せた」とのコメントがあった。

○「非製造業」では、前月との比較において「在庫数量」「雇用人員」の2指標が改善し、その他6指標が悪化した。宿泊業から「人手不足により営業形態を見直す宿泊施設も見受けられる」とコメントがあるなど人材不足が各所で見られた。一方、道路貨物運送業では「荷主側から積極的な運送費の値上げの提案があり、売り上げの一部を給与に回し、乗務員の採用を増やすよう要請があった」とコメントがあり、2024年問題に対し荷主側の歩み寄りが見られる。

(DI値)

	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況
2023年10月	3.3	-2.3	33.3	-10.0	-18.3	-18.4	3.4	-6.7	-25.0
2023年9月	-12.1	-4.7	27.6	-6.9	-27.6	-25.9	-30.0	-13.8	-25.8
増減	15.4 ↑	2.4 ↓	5.7 ↑	-3.1 ↓	9.3 ↑	7.5 ↑	33.4 ↑	7.1 ↑	0.8 ↑

2.項目別の前月・今月のDI値の比較

		製造業				非製造業				全体			
		DI値	増減		DI値	増減		DI値	増減				
売上高	2023年10月	6.7	43.4	ポイント	↑	0.0	-14.3	ポイント	↓	3.3	15.4	ポイント	↑
	2023年9月	-36.7				14.3				-12.1			
在庫数量	2023年10月	3.3	13.3	ポイント	↓	-14.3	-22.6	ポイント	↑	-2.3	2.4	ポイント	↓
	2023年9月	-10.0				8.3				-4.7			
販売価格	2023年10月	26.7	16.7	ポイント	↑	40.0	-6.4	ポイント	↓	33.3	5.7	ポイント	↑
	2023年9月	10.0				46.4				27.6			
取引条件	2023年10月	0.0	10.0	ポイント	↑	-20.0	-16.4	ポイント	↓	-10.0	-3.1	ポイント	↓
	2023年9月	-10.0				-3.6				-6.9			
収益状況	2023年10月	-10.0	26.6	ポイント	↑	-26.7	-8.8	ポイント	↓	-18.3	9.3	ポイント	↑
	2023年9月	-36.6				-17.9				-27.6			
資金繰り	2023年10月	-10.0	16.6	ポイント	↑	-26.7	-1.7	ポイント	↓	-18.4	7.5	ポイント	↑
	2023年9月	-26.6				-25.0				-25.9			
設備操業度	2023年10月	3.4	33.4	ポイント	↑					3.4	33.4	ポイント	↑
	2023年9月	-30.0								-30.0			
雇用人員	2023年10月	-3.4	13.3	ポイント	↑	-10.0	0.8	ポイント	↑	-6.7	7.1	ポイント	↑
	2023年9月	-16.7				-10.8				-13.8			
業界の景況	2023年10月	-16.7	10.0	ポイント	↑	-33.4	-8.4	ポイント	↓	-25.0	0.8	ポイント	↑
	2023年9月	-26.7				-25.0				-25.8			

今月の業種別回答件数

	売上高		在庫数量		販売価格		取引条件		収益状況		資金繰り		設備操業度		雇用人員		業界の景況		
	増加	減少	増加	減少	上昇	悪化	好転	悪化	好転	悪化	好転	悪化	上昇	悪化	増加	減少	好転	悪化	
製造業	食料品	2	0	0	1	1	0	1	0	1	0	1	0	0	1	2	0	0	0
	繊維工業	2	1	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	1	1	1
	木材・木製品	1	3	2	0	1	1	0	1	1	2	1	1	1	3	0	1	0	2
	紙・紙加工品	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1
	印刷	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	窯業・土石製品	0	2	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	1
	鉄鋼・金属工業	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	1	0	1
	一般機器	1	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	1
	電気機器	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1
	輸送用機器	4	0	2	0	2	0	1	1	4	1	2	1	3	1	2	1	3	1
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
非製造業	卸売業	1	2	0	1	2	0	0	1	0	2	0	2	X					
	小売業	2	3	1	2	4	1	0	3	0	4	0	3						
	商店街	2	2	1	1	3	2	0	1	1	1	0	2						
	サービス業	2	0	X		2	0	1	1	1	1	1	0						
	建設業	0	3			1	0	0	1	0	3	0	1						
運輸業	3	0	X		3	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	1			

3.情報連絡員からの報告

製造業

水産食料品	・電力費やガス代、燃油代などのインフラコストが政府の補助金の効果もあって比較的安定してきている。上半期は予想外の黒字を出せたが下半期には予定している「計画修繕」をいくつか実施する。下半期も今の売り上げを維持できるかが勝負の分かれ目である。
パン	・原材料、光熱費、人件費等経費の増加を企業努力でカバーしてきているが、11月より販売価格の値上げを実施する企業もある。
織物業	・全体的に受注は前年度に比べ好転してきている。特に浴衣の来年度の受注が順調に入ってきている。コロナ禍で生産能力が減少し高齢化も加わり、広幅織物を小幅織物に転用をしながら急場をしのいでいる。
製材・木製品	・昨年は台風15号で被災し稼働してない状況であった為、各項目「増加」や「好転」という項目とした。しかし、物価高による資材価格高騰等で住宅着工も伸びず、大手企業も中小企業の仕事を取りに来ている状況で、過去にないほど苦戦している。
印刷・同関連業	・昨年比でしかないが、電力料金の低下の影響は大きい。
骨材・石工品等	・前年同月より、売り上げが増加し収益が好転したが、在庫数量が厳しい。
金属製品	・エネルギーコストの引き続きの高騰により景況悪化。 ・白物家電市場悪化による生産減。
生産用機械器具	・国内受注動向は自動車や半導体装置向けに低迷傾向が続いた。中国は上期は低迷したが、下期から新エネ車向けに受注拡大が期待できるか。また北米は航空機や医療関連が堅調に推移しており、下期から緩やかに回復が期待できることを願う。
電気機械器具	・9月の白物家電の業界統計では数カ月ぶりに前年比プラスに転じたが、サービス消費へのシフトや物価高により消費者の節約志向の高まりの影響がでている。 ・大型冷蔵庫の生産は前年比ではマイナスが継続している。 ・家庭用エアコンの生産もマイナスが継続しているが、流通在庫調整も進み次月より前年並みに戻る見込み。 ・業務用エアコンの生産は国内・輸出共にマイナスが継続している。
輸送用機械器具	・複数の組合員がインボイス制度の対応に戸惑っている ・4輪車関係は順調に生産も回復してきたが、欧米の市況による影響で受注部品によっては生産量に差が出ている。また、人手の確保については引き続き厳しい状況が続いており、新卒の採用は昨年より厳しい状況になっている。 ・コロナ感染症の終息と共に、企業体力のない企業の淘汰が始まった感がある。ゼロゼロ融資の返済、原材料費の高騰、人件費の増加等々の要因と共に製造業の製造の緩急の複合要因があると思われる。 ・受注量が少なく増えてこないのので、就業時間を短縮した事業所もある。

非製造業

セメント卸売業	・売上高は3ヶ月連続前年同月比減少、夏場以降需要低迷が続いている。
各種商品卸売業	・業容の悪化に伴い、M&Aを希望する組合員が数社ある。
鮮魚小売業	・新型コロナウイルス感染症の、感染症法上の位置づけが5類に引き下げられたことにより、客足は回復したが、仕入れ原価の高値安定、エネルギー関連のコスト高により、収益状況は厳しい状況が続いている。また、人材確保も厳しい状況のため売り上げ回復に対応できていない現状もある。
野菜・果実小売業	・猛暑の影響による品不足、価格の高騰が続いた。
各種商品小売業	・インボイス制度が始まり、余計な負担がさらに増え困っている。
	・イベントを10月22日まで開催した。大勢参加できるゼミもあり、参加者からは好評を頂いている。商店街に来街するきっかけとなった。また、青年部で外部企業の協力を得て親子向けのイベントも開催した。将来のファン作りを目的にしている。10月28・29日のハロウィンイベントでは4000人以上の親子づれで街が賑わった。来街者は増加傾向にある。
	・9月のセールを上旬から下旬にずらして行ったことにより、10月のセールとの間隔が短くなった為、買回り品の店舗の10月の売上が少しダウンした。
宿泊業	・組合員旅館の宿泊人員は、前年比105.5%と増加した。県外からのグループツアーも増えてきている。雇用状況は、引き続き人手不足の状況。
	・コロナ前(2019年)と比較して、概ね9割程度に回復した。売り上げの増加は見られるものの、各種エネルギー、食材料費の高騰により収益率は依然厳しい状況。人手不足により、営業形態を見直す宿泊施設も見受けられる。インバウンドが増加傾向である。
総合工事業	・10月に入って来年着手工事の引き合いが増えているが、予算的には厳しい状況が続いている。木材は供給不足になる話も出始めている。
	・売上、収益状況が悪くなっている要因としては、元々、予定していた物件が遅れたことがある。周りからも、遅れる物件が多いのは聞いているが、このまま続くと資金繰りが厳しくなってくる会社も出てくると思われる。静岡県自体が物件が少ないため、上記の会社は安値で受注をしようとするので、価格低下にも繋がっている。賃金を上げていかなければいけない状況で、企業は何処からお金を出すのか？課題・問題に感じている。
電気工事業	・2024年問題は、組合員の間で話題になっている。比較的従業員の多い事業所では、事前の対応がとられているように見受けられるが、従業員が数人の事業所では、行き当たりばったりのような印象を受ける。
職別工事業	・全体的に大きな変化は見られず、多少の繁閑の差はあるものの、おおむね通常に近い業務推移。今後、年末、年度末にかけての追い込みや新規着工がある中では、人の確保が急務なのは変わらない。
道路貨物運送業	・物流の2024年問題の対応に向け、1. 高速道路料金の大口・多頻度割引の実質最低50%割引への拡充と恒久化 2. SA・PAの駐車施設等の一層の整備と迅速化 3. トラックの軸重制限の緩和 を優先課題として業界で国に対して提言している。
	・取引先・荷主側から積極的な運送費の値上げの提案があり、売り上げの一部を給与に回し、乗務員の採用を増やすよう要請があった。(年度末までの繁忙期の対応及び、2024年問題の為)
道路旅客運送業	・9月の運送収入をコロナ前と比較すると、前月よりも7.8ポイント改善し81.4%、コロナ後2度目の80%台となった。一方、ドライバー不足により旅客需要に対し供給力が追い付いていない状況が続いており、業界全体で人材確保対策が喫緊の課題になっている。募集をかけてもなかなか人が集まらないため、多方面からの支援をお願いしたい。

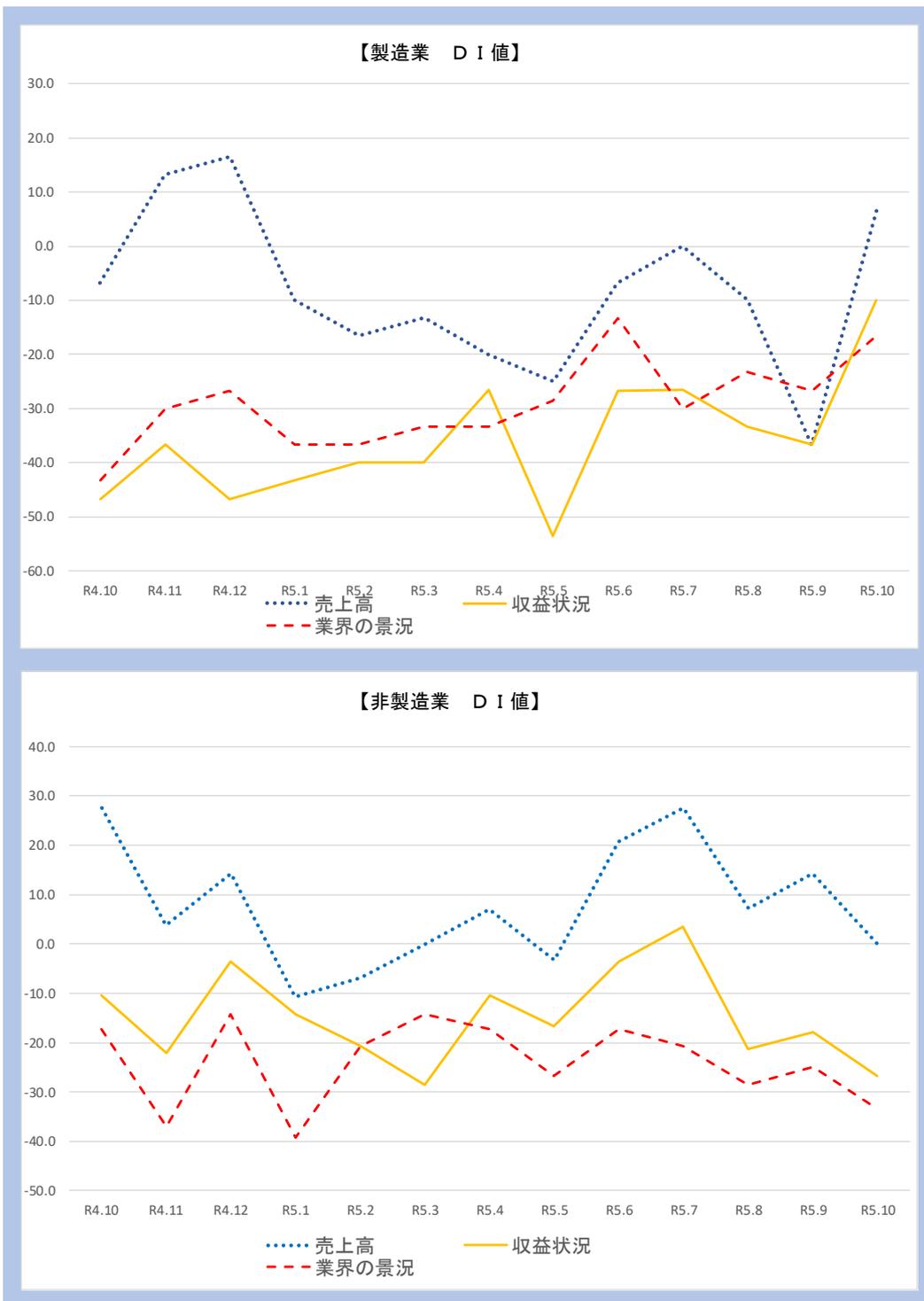
4. 主要三指標における DI 値の推移

■2022年10月期～2023年10月期までの推移

全体	R4.10	R4.11	R4.12	R5.1	R5.2	R5.3	R5.4	R5.5	R5.6	R5.7	R5.8	R5.9	R5.10
売上高	10.2	8.8	15.5	-10.3	-11.9	-6.9	-6.8	-13.8	6.8	13.6	-1.7	-12.1	3.3
収益状況	-28.9	-29.9	-25.9	-29.3	-30.5	-34.5	-18.7	-34.5	-15.2	-11.9	-27.6	-27.6	-18.3
業界の景況	-30.5	-33.4	-20.7	-38.0	-28.8	-24.1	-25.4	-27.6	-15.2	-25.4	-25.9	-25.8	-25.0

製造業	R4.10	R4.11	R4.12	R5.1	R5.2	R5.3	R5.4	R5.5	R5.6	R5.7	R5.8	R5.9	R5.10
売上高	-6.7	13.3	16.6	-10.0	-16.6	-13.3	-20.0	-25.0	-6.7	0.0	-10.0	-36.7	6.7
収益状況	-46.7	-36.7	-46.7	-43.3	-40.0	-40.0	-26.6	-53.6	-26.7	-26.6	-33.3	-36.6	-10.0
業界の景況	-43.3	-30.0	-26.7	-36.7	-36.6	-33.3	-33.3	-28.5	-13.3	-30.0	-23.3	-26.7	-16.7

非製造業	R4.10	R4.11	R4.12	R5.1	R5.2	R5.3	R5.4	R5.5	R5.6	R5.7	R5.8	R5.9	R5.10
売上高	27.6	3.7	14.3	-10.7	-6.9	0.0	6.9	-3.3	20.7	27.6	7.1	14.3	0.0
収益状況	-10.4	-22.2	-3.6	-14.3	-20.7	-28.6	-10.4	-16.7	-3.5	3.5	-21.4	-17.9	-26.7
業界の景況	-17.2	-37.0	-14.2	-39.3	-20.7	-14.3	-17.2	-26.7	-17.2	-20.7	-28.6	-25.0	-33.4



■2022年10月期～2023年10月期までの推移

売上高	R4.10	R4.11	R4.12	R5.1	R5.2	R5.3	R5.4	R5.5	R5.6	R5.7	R5.8	R5.9	R5.10
製造業	-6.7	13.3	16.6	-10.0	-16.6	-13.3	-20.0	-25.0	-6.7	0.0	-10.0	-36.7	6.7
非製造業	27.6	3.7	14.3	-10.7	-6.9	0.0	6.9	-3.3	20.7	27.6	7.1	14.3	0.0

収益状況	R4.10	R4.11	R4.12	R5.1	R5.2	R5.3	R5.4	R5.5	R5.6	R5.7	R5.8	R5.9	R5.10
製造業	-46.7	-36.7	-46.7	-43.3	-40.0	-40.0	-26.6	-53.6	-26.7	-26.6	-33.3	-36.6	-10.0
非製造業	-10.4	-22.2	-3.6	-14.3	-20.7	-28.6	-10.4	-16.7	-3.5	3.5	-21.4	-17.9	-26.7

業界の景況	R4.10	R4.11	R4.12	R5.1	R5.2	R5.3	R5.4	R5.5	R5.6	R5.7	R5.8	R5.9	R5.10
製造業	-43.3	-30.0	-26.7	-36.7	-36.6	-33.3	-33.3	-28.5	-13.3	-30.0	-23.3	-26.7	-16.7
非製造業	-17.2	-37.0	-14.2	-39.3	-20.7	-14.3	-17.2	-26.7	-17.2	-20.7	-28.6	-25.0	-33.4

